第１回　西部特別支援学校　学校運営協議会　議事録

日　時	令和４年５月 24 日(火)　　13 時 30 分から 15 時まで
場　所	西部特別支援学校　会議室
出席者	木下清史様(三方原地区根洗自治会長)、山口治茂様(細江地区湖東自治会長)、安達広様(聖隷三方原病院事務局長)、川合由美様(浜松市社会福祉事業団施設長)、加藤久貴様(弁護士)、山田浩昭様(元特別支援学校長)、松本浩一様(ＰＴＡ会長) 校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、訪問主任、教務課長
内　容	次第 １　校長挨拶 ２　委員の委嘱 ３　自己紹介 ４　校内一巡 ５　目的確認（本会目的の確認） ６　会長・副会長・地域コーディネーターの選出 ７　令和４年度学校経営計画 ８　学部経営（小学部・中学部・高等部・訪問教育） ９　意見・助言 10　閉会の言葉
協議での意見等	○学校経営計画「目指す学校像」について 校長から説明し、委員からの意見を聴取した。 ・学校運営課題の解決に向けた組織的な取り組みについて、全職員を巻き込んでいけるのか。 →プロジェクトチームは縦割りで特定の人で取り組むが、そこで決められたことを各学部に伝えていく。 ・SDGS を意識した活動とは。概要を捉えられるような学習なのか。 →全校で取り組むことができる SDGS とは何かを、児童生徒自身が考える機会としたい。今後エコキャップ運動を行う予定。 ・0JT で到達点をどこにするのか。若手が目標とするところが良い。 →①仕事が楽しいと思える②教員としての心構え、基礎的な力、を付けてほしい。何かアドバイスがあるか。 ⇒一般企業でも 0JT を行っている。日常の中で第３者が評価していく。また、個人個人目標が違っていて、全員が同じことをするわけではない。ある程度達成が分かり、次に何に取り組めばよいかわかると成果が

	ある。 →県から出ているキャリア構想をもとに細かく考えていきたい。 ・低学年の医ケア児童が増えている。現在医ケアを受け入れる施設がとても少ない。卒業までの受け受け皿が少しでも増えるように地域で考えている。学校も力添えをお願いしたい。 ・医ケアの保護者について、仕事をしていると年度初めの学校待機が難しい。学校を欠席し放課後支援等のサービスを使うことになる。待期期間を減らし、保護者の負担を減らす努力をお願いしたい。 ・地域とのつながりについて、実際に住んでいるところのつながりが持てるきかっけづくりをお願いしたい。現在居住地域で孤立しているご家庭が多い。災害時などを考えて地域とつながっていることが重要・ ・共生社会について、地域の中で何ができるか。例えば、「公民館に作品を置く」「地域の花壇に花を植える」 委員から、学校経営計画「目指す学校像」について承認を得た。 〇第２回学校運営協議会について 10 月 18 日（火）午後１時半から３時に実施することを確認した